●特集　2023 年 11 月４日　ネパールの地震

（１）概要及び最近の地震活動（注１）

2023 年 11 月４日 03 時 02 分（日本時間、以下同じ）にネパールの深さ 33km で Mw5.8 の地震（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震により、死者 154 人、負傷者 934 人などの被害が生じた（2023 年 11 月 27 日現在）。

1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では M5.0 以上の地震が時々発生しており、1980 年７月 29 日には Mw6.5 の地震が発生し、死者 100 人などの被害が生じた。

今回の地震の震央周辺は、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突している地域で、大きな被害を伴う地震が度々発生している地域である。今回の地震の震央の東南東約 250km では、2015 年４月 25 日に Mw7.9 の地震が発生し、この地震により死者 8,776 人などの被害が生じた。

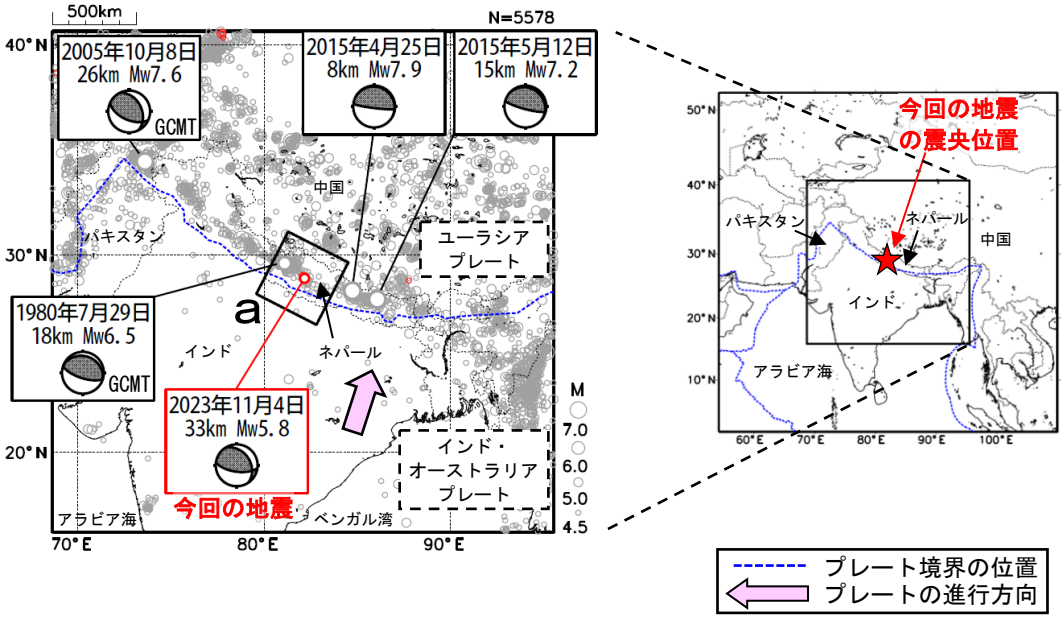

図１－１　震央分布図（1980 年１月１日～2023 年 11 月 30 日、深さ０～100km、M≧4.5）
2023 年 11 月の地震を赤色で表示

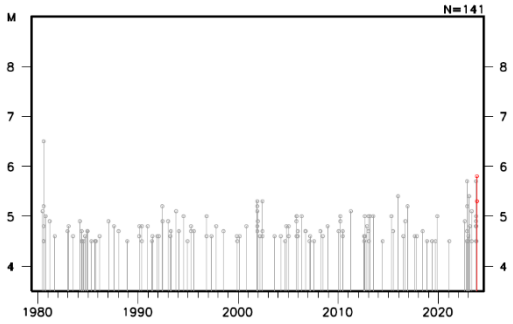

図１－２　図１－１の領域ａ内のＭ－Ｔ図

（注１）震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2023 年 12 月６日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は、今回の地震、2015 年４月 25 日の地震及び 2015 年５月 12 日の地震は気象庁、その他の地震は Global CMT による。地震の被害は、今回の地震は OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2023 年 11 月 27 日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置は Bird(2003)*1 より引用。

*1 参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.